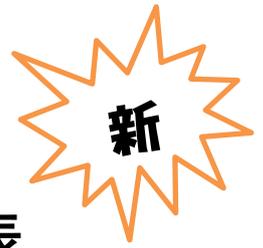




令和7年度 平塚市博物館プラネタリウム特別投影



「月にいのり、星をまつる」 予定表

七夕、お月見など、わたしたちの身のまわりには、天体にちなむ行事があります。また、路にたたずむ石仏などには、月や星をまつったものがあります。いったい星は、天体は、わたしたちの祖先に、どんな願いを託されてたのでしょうか？

この投影は、科学とは別の次元で人と付き合ってきた星たちの姿を、あちこちに訪ねます。そうして、星を通じて昔の人たちの願いにふれてみたい…と思うのです。

<スケジュール>

投影は各回 15 時 30 分～（開場 15 時 15 分・所要約 50 分）

日付	テーマ	内容
2025 年		
6月22日(日)	おりひめ・ひこぼしのまつりと伝説	牽牛・織女の伝説は中国から伝わりました。星空を見上げながら、古典の中にその源流をたどります。また、国内で見られる七夕のさまざまな風習や信仰を概観します。
9月28日(日)	月に祈る	月は毎夜かたちを変え、位置や見える時間も変わります。十五夜、十三夜のお月見と、二十三夜など月待ちの風習を紹介します。
12月7日(日)	大雄山星宿燈～吉原講二十八基の願い	南足柄道了尊の参道にある二十八基の道標(丁目石)は、星の名をひとつずつ刻む「星宿燈」です。明治40年にこの道標を寄進したのは、まさに映画「吉原炎上」に描かれた時代の、遊郭吉原の人々でした。
2026 年		
3月15日(日)	降臨する明星	厚木市にある日蓮上人の星下り伝説、室戸岬で弘法大師に来迎した明星、日光開山にまつわる縁起などを紹介します。

※「今夜の星空」の解説は、原則として、ありません

※どの回も参加自由。当日9時から1階受付で整理券を配布します。整理券はおひとり5枚まで。

※観覧料は200円（18歳未満65歳以上無料）です。

※観覧券は13時15分から受付で販売します。（65歳以上の方は年齢を証明できるものをお持ちください）

